

携帯情報端末を用いた果樹の病害虫診断サポートシステムの開発

【特徴】

果樹病害虫の写真や診断のポイントを整理し、タブレットやスマートフォン等の携帯端末で検索・閲覧できるシステムを作成した。平成28年度時点で、県内の果樹生産者・農業関係団体等を対象に、ブドウとモモについて提供している。

【活用が見込まれる分野】

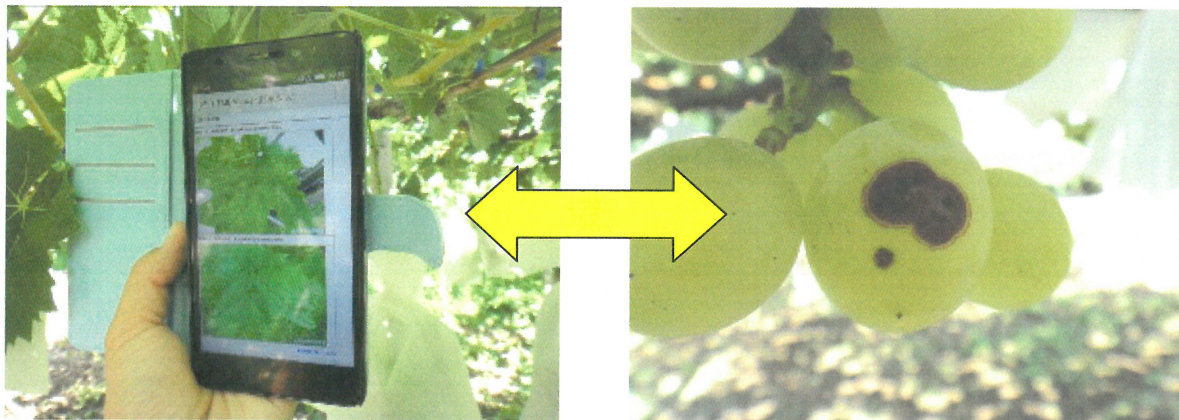
果樹生産技術の向上

【成果】

病害虫診断サポートシステムの開発・提供
(対象樹種：ブドウ、モモ)

【内容】

果樹園にいたまま、病害虫診断サポートシステムの写真や記述と、実際の症状を見比べることができ、病害虫の診断に活用できる。



モモの病害一覧
*一覧から似た症状をタッチし、詳細な写真を掲載したページに移動します。

花・葉の病害	果実の病害
新梢・枝の病害	主幹・根の病害
※害虫一覧に移動	※システムトップに戻る

○花・葉の病害

灰被病	病害一覧に戻る
せん孔細菌病	葉の病害トップに戻る
縮葉病	病害一覧に戻る
縮さび病	葉の病害トップに戻る

せん孔細菌病 (病原: *Brenneria nigrifluens*, *Pseudomonas syringae*, *Xanthomonas arboricola*)

- ・発生時期：5月～
- ・発生しやすい条件：降雨が多い場合。風当たりの強い圃地や、同じ圃地でも風当たりの強い場所。
- ・被害：葉、枝、果実に発生する。葉では葉脈に区切られた白色がかったカスリ状の斑点が現れ、その後、水浸状で赤紫色～褐色の病斑となる。病斑周辺部は黄色になり、最終的に離層を形成して穴が開く。ひどくなると葉が黄変し、早期落葉する。

○葉の各症状

症状 1 病斑は水浸状で赤紫色～褐色、病斑の周辺部は黄色になる。離層を形成して穴が開く。

症状 2 水浸状で赤紫色～褐色の病斑となり、穴が開く。ひどくなると葉が黄変し、早期落葉する。

小さな写真が並ぶ“一覧”から、似ている症状を選択すると、その病害虫に関する多数の写真と詳しい説明があるページに移動する。